

令和7年度

事業報告書

自 令和7年 4月 1日
至 令和8年 3月31日

公益財団法人下関海洋科学アカデミー

目 次

令和7年度公益財団法人下関海洋科学アカデミー事業報告書

1	事業概要	1
2	事業内容	2
3	会議に関する事項	9
4	役員等に関する事項	10
5	登記事項	11
6	常勤の役員及び職員に関する事項	11
7	事業報告 附属明細書	11

令和7年度公益財団法人下関海洋科学アカデミー決算報告書

1	令和7年度公益財団法人下関海洋科学アカデミー 貸借対照表	12
2	令和7年度公益財団法人下関海洋科学アカデミー 正味財産増減計算書	17
3	令和7年度公益財団法人下関海洋科学アカデミー キャッシュ・フロー計算書	24
4	令和7年度公益財団法人下関海洋科学アカデミー 財務諸表に対する注記	25
5	令和7年度公益財団法人下関海洋科学アカデミー 附属明細書	27
6	令和7年度公益財団法人下関海洋科学アカデミー 財産目録	28

	令和7年度公益財団法人下関海洋科学アカデミー 監査報告書	32
--	------------------------------	----

令和7年度事業報告書

令和7年4月1日から令和8年3月31日まで

1. 事業概要

当財団は、指定管理者として下関市より下関市立しものせき水族館「海響館」の管理運営事業を受託し、関門ウォーターフロント地区の観光・レクリエーション事業の中核的拠点として、また生涯学習施設として、自然と人の共存を実感できる施設の管理運営並びに地域社会への貢献を目標とし事業を展開しました。海響館は、下関市が進める施設老朽化に伴うリニューアル改修工事のため、令和6年12月1日から令和7年7月31日まで休館し、令和7年8月1日に新たに建設したアシカ展示繁殖施設「ひれあしビーチ」とともにリニューアルオープンしました。リニューアルオープンに際しては、新たな魅力の積極的な情報発信による集客に努め、令和8年3月31日までの8ヶ月間の開館における令和7年度入館者数は522,572人（前年度対比131.30%（令和6年度は4月～11月の8カ月の開館）、目標対比119.86%）となりました。なお、令和7年8月1日より入館料が改定された他、サポーターズクラブを廃止し年間パスポートの販売を開始しました。

全体的な運営においては、水族館が担うべき多様な役割の実行とSDGsの実践を伴いながら、来館の動機付けの強化、来館時の高い満足度の提供、他施設との差別化を主軸に取り組み、「市民が誇れる水族館、市民に必要とされる水族館、全国的な評価を得る水族館」を目指した様々な活動を行いました。SDGsの実践としては、海洋ゴミの回収活動の他、下関市の事業による全館LED照明化への協力、並びに下関市からの依頼により再エネ電力及びカーボンオフセット都市ガスの使用を開始しました。

公益目的事業では、展示生物の積極的な収集活動にて山口県の漁業者より非常に珍しいフグ目魚類「ツバサモンガラ属の一種」の生体を受贈し世界初展示が実現した他、生物の長期飼育に注力し、飼育年数20年以上の個体はバンドウイルカなど海獣類で9頭、ペンギンなど鳥類で39羽、魚類では3種6個体が現存しております。生物の繁殖の取り組みでは、フグ目魚類1種を含む6種10点の繁殖に成功しました。野生生物の保全並びに調査研究として、近隣海域の鯨類やウミガメ類のストランディング・混獲の調査を継続実施した結果、鯨類7件、ウミガメ類13件に対応し、鯨類目撃情報27件を記録しました。自主的な調査研究に取り組み、研究会や論文にて計16題の発表を行った他、33件の共同研究を進め、21件の研究協力を行いました。普及啓発は、フグについて楽しく学ぶコーナー「フグペディア」の新設、サンゴ礁水槽のレイアウト一新、周防大島の海水槽にてニホンアワサンゴの群体展示の開始、各水槽への解説用モニター新設など、学びを伴った展示の強化を行いました。また、通常イベント並びに体験イベントでは、従来のイベントの強化に加え、新たにゲリラトーク及びスタッフが行うバックヤードツアーを開始しました。特別イベントは、船の科学館「海の学びミュージアムサポート」の助成を受け、特別企画展「アシカの明日展」及び連動イベント「アシカに挑戦！大声コンテスト」を開催しました。また、夏季には「夜の水族館」、「海響あーとコンテスト」、季節催事としてはハロウィン、クリスマス、正月のイベントを開催しました。さらに、3月からは25周年イベントとして「ニコニコ（2525）総選挙」を開始しました。

水生生物に関する社会教育機関としての機能を果たすべく、下関市の出前講座や総合学習、講義、講演、実習の受け入れなどの教育・普及啓発活動にも積極的に取り組み、2,000名以上を対象とし実施しました。また、下関市立養治小学校との博学連携による海洋教育プログラムを継続実施しました。

観光レクリエーション事業の振興として、5施設連携のモアしものせき委員会によるプロモーション、観光庁のガストロノミーツーリズム事業に関するFAMツアーへの協力、関係諸機関が実施するイベントに協力した他、令和7年12月11日に開業した「星野リゾート リゾナーレ下関」の体験型コンテンツの創出に協力するなど、入館者数の増加に努めました。

海響館の公式ホームページ及びSNSを活用した広報宣伝を積極的に行い、Instagramのフォロワー数は令和6年

度より約1.1万人増の4.5万人、Xでは約4千人増の1.3万人となりました。また、新たに製作したCMのテレビ放送並びにSNS配信を行いました。

令和7年8月1日から31日まで、QRコードを用いたオンラインによる来館者アンケート調査を実施しました。

リニューアル改修工事において、館内誘導サインのデザイン及び設置位置、ゾーニング、マップなどの全面的な見直しにより、館内動線を明確化し利便性を向上させました。また、正面入口下にウェルカムモニュメント、券売ブース上に大型LEDビジョンを新たに設置し、イメージの一新と利便性の向上を図りました。

下関市が進める「あるかぽーと・唐戸エリアマスタープラン」のプロジェクトに参画した他、脱炭素先行地域事業に協力しました。

一般社団法人日本水族館協会の運営に協力し、魚類繁殖委員会や水族館研究会実行委員会、トレーニングセミナー実行委員会、長期飼育・繁殖委員会などの委員の委嘱を受けている他、イルカ人工繁殖研究会などの諸事業に積極的に参加しました。また、公益社団法人日本動物園水族館協会の種の保存に関する海獣類、ペンギン類の血統登録調査にこれまで通り協力しました。

収益事業については、ショップの全面改装及び拡張を行い、新ショップ「naminowa」をオープンさせました。これに伴い商品の陳列や商品展開の全面的な見直しを行い、海響館の展示生物と関連する数多くのオリジナル商品を開発し、オンラインショップを含めた販売を行いました。また、自動販売機の設置を視認性の高い場所に変更し、来館者の利便性の向上を図りました。

真珠取り出し体験事業は、場所を2階休憩コーナーから1階キッズコーナー横に移動し、スペースの広い場所での展開としました。

2. 事業内容

(1) 生物に関する資料の収集、輸送及び飼育に関する事業

- ① 生物収集については、購入のみならず自家採集及び自家輸送を積極的に実施し、令和8年3月末時点での飼育数は451種25,411点となりました。山口県の漁業者より非常に珍しいフグ目魚類「ツバサモンガラ属の一種」の生体を受贈し、世界初展示となりました。また、青森県営浅虫水族館など3施設から無償譲受による生物収集を行った他、山形県鶴岡市よりカリフォルニアアシカ2頭、福岡県の株式会社海の中道海洋生態科学館よりスナメリ1頭を新たに受寄しました。なお、令和7年度下半期はカタクチイワシの生体漁獲が不漁であったため、目標展示点数の55,000点を大きく下回る結果となりました。
- ② 飼育生物の繁殖では、6種10点（うちフグ目1種、海藻は点数として計上せず）の繁殖・育成に成功しました（生後（孵化後）6ヶ月を経過したもの）。また、ブリーディングローンとして新潟市水族館にて寄託飼育しているゴマフアザラシ（雄）を父獣として子（雌）が誕生し、無事に成育したため下関市に帰属しました。人工授精の実施はありませんでしたが、スナメリ及びペンギン類より採精し、精液を凍結保存しました。
- ③ 飼育生物の飼育技術獲得及び健康管理に努め長期飼育に取り組んだ結果、飼育年数20年以上の個体がバンドウイルカなど海獣類で9頭、ペンギンなど鳥類で39羽、魚類では3種6個体が現存しております。
- ④ アンコウ目魚類については、山口県内外からの収集に取り組み、令和5年度及び6年度に続き青森県営浅虫水族館の協力を得て青森県内の定置網にて漁獲されたキアンコウ3点を搬入し、そのうち2点の安定した飼育が実現しており、令和7年8月1日より展示を継続しています。また、山口県漁業協同組合の漁業者より計11点のアンコウ目魚類を収集し、そのうち飼育が安定したアンコウ1点を展示しました。

- ⑤ 令和7年10月よりアオリイカの収集を開始し、令和8年1月より展示しました。
- ⑥ ニホンアワサンゴの群生展示を目的に、山口県柳井農林水産事務所の許可を得て周防大島での潜水により群体を採取し、展示水槽にて飼育を開始しました。また、ポリプからプラヌラ幼生の採取も行いました。採取した群体からはプラヌラの放出が確認され、展示水槽内の擬岩への着生が認められ、育成に取り組んでいます。平成29年から令和6年にかけてプラヌラ幼生を採取し飼育しているニホンアワサンゴ（最長で8年6ヶ月）については、予備水槽及び展示水槽内で育成を継続しており、引き続き、ニホンアワサンゴの育成及び水槽内繁殖に取り組めます。
- ⑦ サンゴ礁水槽は、劣化が著しい壁面及び擬岩の改修に合わせ展示内容を変更し、主たる展示生物の一つと設定したキンメモドキを長崎県の漁業協同組合より収集し、長期飼育に取り組んでいます。

(2) 生物の保護及び保全に関する事業

- ① 下関周辺でのウミガメの情報収集及び産卵調査の結果、4種13件13頭（迷入1件、混獲2件、海上漂流1件、海岸漂着9件）に対応しました。また、NPO法人日本ウミガメ協議会が行う漂着・混獲及び上陸・産卵に関するアンケート調査に協力しました。
- ② チリ国立サンチアゴ・メトロポリタン公園付属動物園のフンボルトペンギンプロジェクトの支援について、具体的な活動はありませんでした。メトロポリタン公園付属動物園が100周年を迎えるにあたり、ショートビデオメッセージの提供依頼を受け、送付しました。
- ③ 鯨類のストランディング・混獲については、2種7件7頭（生存0件、死亡7件7頭）の情報を得ましたが、個体の保護事例はありませんでした。スナメリは6件6頭で、全て死亡での発見事例でした。
- ④ スナメリの飼育下繁殖を主テーマとした瀬戸内海西方海域スナメリ協議会の定例会議に参加しました。
- ⑤ リニューアルオープンに合わせ、2階「周防大島の海」水槽にてニホンアワサンゴの群体の展示を開始し、保全への貢献を目的としてプラヌラ幼生の育成への取り組みを紹介しましたが、周防大島町との直接的な連携の実施はありませんでした。

(3) 調査研究に関する事業

- ① 飼育生物や収集した生物を用い、生態、形態、繁殖、医療など幅広い分野に関する調査研究に積極的に取り組みました。
- ② 国内外の水族館、大学、研究機関などと連携し、令和7年度中は33件（うち令和7年度新規7件）の共同研究を進め、21件（うち令和7年度新規8件）の研究協力を行いました。
- ③ 一般社団法人日本水族館協会主催の水族館研究会及びJAAトレーニングセミナー、魚類学会、日本野生動物医学会、ペンギン会議など16件に参加し、11題の口頭発表、4題のポスター発表及び研究誌にて1題の論文発表を行いました。また、共同研究の共著発表として2題の口頭発表、2題のポスター発表及び3題の論文発表（卒業論文含む）を行い、研究協力の発表として2題の論文発表がなされました。
- ④ 下関周辺に生息する水生生物の調査では、令和6年度に続き関門海峡におけるトラフグの産卵調査を実施し、関門海峡内にて計56尾のトラフグの姿を撮影することができました。産卵のために密集しているものと考えられます。
- ⑤ アマミホシゾラフグについては、「アマミホシゾラフグの産卵床（基質）内外の底質調査」として現地での潜水調査及び砂の採取、卵の採取を行いました。

- ⑥ 鯨類のストランディング・混獲については、2種7件7頭（生存0件、死亡7件7頭）の情報を得て、ストランディングデータベースに記録し、死体の解剖などにより得られたサンプルを所定の研究機関に送付しました。また、目撃情報27件（4種12件（バンドウイルカ・オキゴンドウ2件、スナメリ6件、バンドウイルカ2件、ミナミバンドウイルカ1件、オキゴンドウ1件）、マイルカ属2件、バンドウイルカ属8件、種不明鯨類2件、種不明イルカ3件）を目撃情報データベースに記録しました。
- ⑦ 一般社団法人日本水族館協会加盟施設が設置した「イルカ人工繁殖研究会」の研究として、つくみイルカ島（大分県津久見市）に寄託しているバンドウイルカより精液を採取し、広島大学に送付しました。また、日本水族館協会主催のイルカ人工授精シンポジウム、並びにイルカ人工繁殖研究会・研究報告会に参加しました。

(4) 普及啓発に関する事業

- ① 令和7年8月1日にアシカ展示繁殖施設「ひれあしビーチ」がオープンしました。メキシコ カリフォルニア半島にあるマグダレナ島の砂浜をモデルとした施設で、雄1頭と雌3頭の群れ展示を開始しました。また、アシカの魅力を解説するイベント「アシカトーク」を開始しました。
- ② 水槽展示では、サンゴと小さな生き物水槽にてカクレクマノミとの共生の展示テーマを明確にし、大型のハタゴイソギンチャクを新たに入手して水槽中央に配置したことにより、来館者が足を止めて水槽を覗き込む姿が多く見られるようになりました。また、水槽のLED照明化に合わせ照度の強化や器具の追加などを行い、関門海峡水槽では逆光下での水槽内の明度を向上させ、瀬戸内海水槽ではイワシ類の銀鱗のきらめきの演出効果を向上させました。さらに、サンゴ礁水槽と熱帯雨林水槽前の観覧エリアにそれぞれ環境音を流すことにより、展示の空間演出の強化を行いました。
- ③ 展示やイベントを通じ、生き物の生き様を伝える活動を継続しました。新たな実施として、関門海峡水槽の底に設置した擬岩よりエアを吹き出すことにより、観覧者の目の前にクエが集まる様子を展示しました。
- ④ リニューアルオープンに合わせ、水槽展示のコーナーサインや魚名板の更新、モニターの新設、スタッフの情報発信掲示パネルの新設などを行い、学びの提供を強化しました。また、フグについて楽しく学べるコーナーとして「フグペディア」を新たに設けました。
- ⑤ 約100種を目標としたフグ目魚類の常設展示を継続し、世界随一の展示種数を維持しました。令和8年1月27日から、世界初となる「ツバサモンガラ属の一種」の生体を展示しました。また、これまで仮設展示となっていたアマミホシゾラフグに関する展示を常設展示コーナーとし、リニューアルオープンから10月20日まで世界初の育成に成功したアマミホシゾラフグの稚魚を展示しました。
- ⑥ リニューアルオープンに合わせ、新たな水槽テーマに移行中となっていた2階の旧暖かい海の生き物水槽を「周防大島の海」水槽へ変更し、ニホンアワサンゴの群体の展示を開始しました。山口県柳井農林水産事務所の許可を得て採集したニホンアワサンゴの群体を展示し、世界最大級のニホンアワサンゴの群生地を有する周防大島の海の魅力を紹介しました。また、保全への貢献を目的とした繁殖研究の取り組みの紹介として、過去に採集しプラヌラから育成中のポリプも展示しました。
- ⑦ サンゴ礁水槽の劣化した壁面や擬岩の改修に合わせ、展示レイアウトを「ケラマの海」に変更しました（名称はサンゴ礁のまま）。新たな擬サンゴの設置によりレイアウトを変更し、新たに主たる展示生物の一つをキンメモドキとしました。また、LED照明化に伴い、光が差し込むような照明演出へ変更しました。

- ⑧ 館内イベント及び体験イベントは、来館者の利便性及び満足度を向上させることを目的とし、従来の名称からわかりやすい名称に変更した他、ひれあしビーチでの解説イベントや時間を決めずに実施するイベント「ゲリラトーク」、スタッフそれぞれが紹介したいものを解説するバックヤードツアーを新たに開始しました。
- ⑨ 「食・資源」の普及啓発として、オープンラボにて「食・資源」に関するテーマを実施した他、「さかなの日」（水産庁制定）の賛同メンバーとして毎月3日から7日の期間にダイバートーク及び水槽へのパネル掲示にて魚食に関する普及啓発を継続しました（令和5年2月より実施）。さらに、募集型の特別イベント「海響館と学ぶ「魚を食して骨を知る！」」を実施しました。
- ⑩ 夏季に夜の水族館を開催した他、ハロウィンやクリスマスの特別展示及びイベントなどを開催しました。また、「ひれあしビーチ」のオープンに合わせ、アシカの魅力を紹介する特別企画展「アシカの明日展」を令和7年8月1日から令和8年1月7日まで開催し、連動イベントとして「アシカに挑戦！大声コンテスト」などを実施しました（特別協力：船の科学館「海の学びミュージアムサポート」）。その他、「海響あーとコンテスト」を開催しました。
- ⑪ 国立研究開発法人水産研究・教育機構水産大学校と連携して運営するオープンラボは、令和7年8月1日から令和8年3月31日までの期間中に10テーマで557回開催し、参加者数は7,709名でした。
- ⑫ 就労体験型の飼育実習として13名（大学、専門学校生）、博物館実習として4名（大学生）、獣医実習として5名（大学生）の実習生を受け入れた他、教員研修1名、業界研修1名を受け入れました。また、社会教育活動として9件の出前講座、13件のバックヤードツアー、4件の団体向け総合学習、9件の一般向け総合学習、そして海洋教育プログラムの講義11件に対応しました。その他、職業講話、講演・講義として12件にも対応し、約2,000名以上を対象に水族館の活動について広く周知するとともに来館意欲の促進を図りました。さらに、5件の雑誌・書籍などへの執筆を行いました。
- ⑬ 解説ボランティアは、活動の実態を鑑み、令和7年10月1日に海響館解説ボランティアから海響館ボランティアと改称しました。令和7年4月1日の登録者数32名に15名を新規登録しました。館内解説活動、出前講座、イベントの補助、展示用植物の管理などの活動を行いました。
- ⑭ 博学連携による地域の教育資源を活用した海洋教育プログラム（令和元年度開始）については、当財団が作成した「海響館と巡る“みずい”が見た海の世界」と題したワークシートを用い、近隣の公立小学校と連携し試行を継続しました。また、令和6年度から開始している下関市立養治小学校との連携教育「わくわくふるさと海峡学」として、1～6年生を対象に11件225名への講座を実施しました。「わくわくふるさと海峡学」の成果は、令和7年度地域連携教育再加速フォーラム及び2025年度全国海の学びフォーラムにて養治小学校により発表されました。
- ⑮ 公式ホームページは海響館の活動に関する最新情報を発信するツールとして活用し、年間約235回の更新を行いました。また、ホームページの訪問者数（セッション数）は約165万人（前年対比約128.7%）、総ページビュー数は約373万件（前年対比約122.9%）でした。SNSでは、Xに約450件の投稿を行い、令和8年3月31日時点でのフォロワー数は1.3万人となりました。また、インスタグラムは年間約380件の投稿を行い、令和8年3月31日時点でのフォロワー数は4.5万人となりました。さらに、フェイスブックへの投稿を年間約360件行うなど、SNSを活用した情報発信を積極的に行いました。

(5) 下関市の観光レクリエーション事業の振興に関する事業

- ① イベント協力として、ジェルキャンドル体験イベントや山口県の「やまぐちゼロカーボンチャレンジ・リアル謎解きゲーム」などを実施しました。
- ② 旅行エージェント等との連携については、具体的な実施はありませんでした。
- ③ モアしものせき委員会(海峡メッセ・海響館・唐戸市場・カモンワーク・はい!からっと横丁)によるデジタルプロモーションやチラシへの広告掲載を行いました。また、はい!からっと横丁との連携による観覧車との「バリューチケット」、並びに開館以来提携している海峡ゆめタワーとの「ダブルチケット」の販売も継続して行いました。
- ④ 観光庁のガストロノミーツーリズム推進事業の調査事業を受託した株式会社 Fu 並びに一般社団法人国際ふく協会からの依頼を受け、検証として2回のFAM ツアーに協力しました。また、山口県観光スポーツ文化政策課との連携により「令和7年度観光客満足度調査」の実施の他、2025しものせき観光キャンペーンに協力しました。
- ⑤ 令和7年12月11日に開業した「星野リゾート リゾナーレ下関」の体験型コンテンツの創出に協力し、開業と同時に海響館のフグについて学ぶ「海響館講座」が開始されました。
- ⑥ 訪日外国人旅行者の誘致についての実施はありませんでした。
- ⑦ 広報宣伝事業
 - i. ii. iii. 令和5年度より開始した「下関海響楽団」と題したCM動画をシリーズとして制作し、テレビ及びSNSにてPRを行いました。このCMは、令和7年6月4日に福岡広告協会のCODO賞を受賞し、フィルム広告シリーズ部門の銅賞、フィルム広告長尺部門の金賞にも選ばれました。ラジオ宣伝については、COME ON! FMのオリジナル番組「海響館まるごと情報局」の通年放送を行いました。
 - iv. タウン誌、情報誌への広告掲載はありませんでした。
 - v. 地域協賛広告として、維新・海峡ウォーク、しものせき海峡まつり、海峡花火大会などへ協賛及び広告掲載し、誘致活動を行いました。
 - vi. 市内路線バスでの車内放送による宣伝活動を行いました。
 - iv. 広報・報道資料として19件を発信し、テレビ、ラジオ、新聞など約140件の取材を受け、海響館の情報がマスコミに取り上げられました。また、WEBメディアや書籍、雑誌、情報誌、フリーペーパーなど多数の媒体にも取り上げられました。

(6) 下関市立しものせき水族館の事業に関連する収益事業

- ① ミュージアムショップを全面改装及び拡張し、新ショップ「naminowa」をリニューアルオープンしました。商品の陳列や商品展開を全面的に見直し、Yogibo Mateのアシカのぬいぐるみや、にぼしアーティスト NAMIKO氏とのコラボ商品、「フグ図鑑」と題したオリジナルクッキーなど、多くのオリジナル商品を開発し、販売を行いました。また、ショップ内や2階休憩コーナーには、新たにガチャやクレーンゲームなどのアミューズメント機器を増台し設置しました。
- ② レストランの運営は引き続き業務委託により実施しました。
- ③ 自動販売機等事業を継続しました。自動販売機の設置場所を視認性の高い場所に変更し、来館者の利便性の向上を図りました。
- ④ 「真珠取り出し体験イベント」は、2階休憩コーナーから1階キッズコーナー横に場所を移動し、引き続き業務委託により実施しました。

(7)その他

- ① 令和7年4月1日から7月31日の休館期間中（令和6年12月1日から休館）に、財団発注にて以下の工事及び整備を実施しました。
(リニューアル改修工事外のもので、特筆すべきものを記載)
 - ・アプローチ下にウェルカムモニュメント設置（既設看板、寄贈物を撤去）
 - ・発券窓口上部に大型LEDビジョン設置
 - ・ミュージアムショップの全面改装及び拡張（収益事業）
- ② 下関市からの依頼を受け、令和7年度より「海響みらい電力」との電気受給契約を締結した他、カーボンオフセット都市ガスの使用を開始しました。
- ③ 下関市の事業として、令和7年10月11日より海響館ライトアップが開始されました。
- ④ 唐戸港の白灯台及び赤灯台横から21回の花火の打上げがあり、その都度、花火の破片（燃えかす）のイルカプールなどへの落下を防ぐ時間外業務及び屋上屋根の損傷を調べる業務に対応しました。海響館に破片が落下した事例が3回ありました。
- ⑤ 下関市が進める「あるかぼーと・唐戸エリアマスタープラン」の計画に参画し、立川専務理事がみなど協議会準備会の定例会議に参加しました。
- ⑥ セイコーエプソン株式会社が社会支援活動として平成29年より行っている「ゆめ水族園」への協力を継続しました（全国の特別支援学校や病院等で水族館を訪問できない子供を対象とし、プロジェクターで水生生物の映像を投影するもの）。
- ⑦ 立川専務理事がInternational Marine Animal Trainers' Association (IMATA) の機関誌（サウンディングス）の地域レポーターを引き続き務めました。

令和7年度 貸借対照表

令和8年3月31日現在

(単位:円)

科目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金	44,632,332	6,402,615	38,229,717
普通預金	209,964,950	317,630,493	△ 107,665,543
郵便振替専用口座	0	950	△ 950
定期預金	50,000,000	50,000,000	0
売掛金	10,026,586	0	10,026,586
未収金	102,304,301	25,000,000	77,304,301
たな卸資産	9,828,576	1,799,525	8,029,051
前払金	0	0	0
前払費用	0	0	0
他会計短期貸付金	0	0	0
立替金	0	0	0
仮払金	0	0	0
流動資産合計	426,756,745	400,833,583	25,923,162
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
投資有価証券	49,000,000	49,000,000	0
基本財産引当預金	100,000,000	100,000,000	0
基本財産合計	149,000,000	149,000,000	0
(2) 特定資産			
退職給付引当資産	79,744,014	65,073,702	14,670,312
役員退職慰労引当資産	4,056,000	2,847,000	1,209,000
特定資産合計	83,800,014	67,920,702	15,879,312
(3) その他固定資産			
什器備品	51,571,560	33,201,560	18,370,000
リース資産	2,464,000	3,388,000	△ 924,000
減価償却累計額	△ 16,557,310	△ 11,938,706	△ 4,618,604
電話加入権	1,512,000	1,512,000	0
その他固定資産合計	38,990,250	26,162,854	12,827,396
固定資産合計	271,790,264	243,083,556	28,706,708
資産合計	698,547,009	643,917,139	54,629,870
II 負債の部			
1. 流動負債			
買掛金	36,872,979	0	36,872,979
未払金	131,953,604	139,012,931	△ 7,059,327
未払法人税等	4,454,600	7,057,800	△ 2,603,200
未払消費税等	10,023,268	9,245,425	777,843
預り金	4,269,800	3,344,885	924,915
仮受金	9,814,750	0	9,814,750
他会計短期借入金	0	0	0
賞与引当金	19,956,194	18,329,454	1,626,740
流動負債合計	217,345,195	176,990,495	40,354,700
2. 固定負債			
長期未払金	2,464,000	3,388,000	△ 924,000
退職給付引当金	79,744,014	65,073,702	14,670,312
役員退職慰労引当金	4,056,000	2,847,000	1,209,000
固定負債合計	86,264,014	71,308,702	14,955,312
負債合計	303,609,209	248,299,197	55,310,012
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
指定正味財産	0	0	0
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	0
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	0
2. 一般正味財産			
一般正味財産	394,937,800	395,617,942	△ 680,142
(うち基本財産への充当額)	(149,000,000)	(149,000,000)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)
正味財産合計	394,937,800	395,617,942	△ 680,142
負債及び正味財産合計	698,547,009	643,917,139	54,629,870

令和7年度 貸借対照表内訳表

令和8年3月31日現在

(単位:円)

科目	公益目的 事業会計	収益事業等会計	法人会計	内部取引消去	合計
I 資産の部					
1. 流動資産					
現金	3,906,699	40,617,663	107,970		44,632,332
普通預金	17,082,032	173,933,958	18,948,960		209,964,950
郵便振替専用口座	0	0	0		0
定期預金	0	50,000,000	0		50,000,000
売掛金	0	10,026,586	0		10,026,586
未収金	68,107,461	1,043,568	33,153,272		102,304,301
たな卸資産	0	9,828,576	0		9,828,576
前払金	0	0	0		0
前払費用	0	0	0		0
他会計短期貸付金	0	32,500,000	0	△ 32,500,000	0
立替金	0	0	0		0
仮払金	0	0	0		0
流動資産合計	89,096,192	317,950,351	52,210,202	△ 32,500,000	426,756,745
2. 固定資産					
(1) 基本財産					
投資有価証券	49,000,000	0	0		49,000,000
基本財産引当預金	100,000,000	0	0		100,000,000
基本財産合計	149,000,000	0	0	0	149,000,000
(2) 特定資産					
退職給付引当資産	69,377,292	0	10,366,722		79,744,014
役員退職慰労引当資産	2,433,600	608,400	1,014,000		4,056,000
特定資産合計	71,810,892	608,400	11,380,722	0	83,800,014
(3) その他固定資産					
什器備品	0	49,316,560	2,255,000		51,571,560
リース資産	2,464,000	0	0		2,464,000
減価償却累計額	0	△ 14,302,310	△ 2,255,000		△ 16,557,310
電話加入権	226,800	151,200	1,134,000		1,512,000
その他固定資産合計	2,690,800	35,165,450	1,134,000	0	38,990,250
固定資産合計	223,501,692	35,773,850	12,514,722	0	271,790,264
資産合計	312,597,884	353,724,201	64,724,924	△ 32,500,000	698,547,009
II 負債の部					
1. 流動負債					
買掛金	0	36,872,979	0		36,872,979
未払金	53,760,323	63,458,211	14,735,070		131,953,604
未払法人税等	0	4,454,600	0		4,454,600
未払消費税等	0	3,338,327	6,684,941		10,023,268
預り金	4,259,642	5,411	4,747		4,269,800
仮受金	9,814,750	0	0		9,814,750
他会計短期借入金	2,500,000	0	30,000,000	△ 32,500,000	0
賞与引当金	18,761,477	409,273	785,444		19,956,194
流動負債合計	89,096,192	108,538,801	52,210,202	△ 32,500,000	217,345,195
2. 固定負債					
長期未払金	2,464,000	0	0		2,464,000
退職給付引当金	69,377,292	0	10,366,722		79,744,014
役員退職慰労引当金	2,433,600	608,400	1,014,000		4,056,000
固定負債合計	74,274,892	608,400	11,380,722	0	86,264,014
負債合計	163,371,084	109,147,201	63,590,924	△ 32,500,000	303,609,209
III 正味財産の部					
1. 指定正味財産	0	0	0		0
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	(0)		(0)
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)		(0)
2. 一般正味財産	149,226,800	244,577,000	1,134,000		394,937,800
(うち基本財産への充当額)	(149,000,000)	(0)	(0)		(149,000,000)
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)		(0)
正味財産合計	149,226,800	244,577,000	1,134,000	0	394,937,800
負債及び正味財産合計	312,597,884	353,724,201	64,724,924	△ 32,500,000	698,547,009

令和7年度 貸借対照表(公益目的事業会計)

令和8年3月31日現在

(単位:円)

科目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金	3,906,699	115,052	3,791,647
普通預金	17,082,032	89,535,684	△ 72,453,652
郵便振替専用口座	0	950	△ 950
定期預金	0	0	0
売掛金	0	0	0
未収金	68,107,461	10,372,980	57,734,481
たな卸資産	0	0	0
前払金	0	0	0
前払費用	0	0	0
他会計短期貸付金	0	0	0
立替金	0	0	0
仮払金	0	0	0
流動資産合計	89,096,192	100,024,666	△ 10,928,474
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
投資有価証券	49,000,000	49,000,000	0
基本財産引当預金	100,000,000	100,000,000	0
基本財産合計	149,000,000	149,000,000	0
(2) 特定資産			
退職給付引当資産	69,377,292	57,915,595	11,461,697
役員退職慰労引当資産	2,433,600	1,708,200	725,400
特定資産合計	71,810,892	59,623,795	12,187,097
(3) その他固定資産			
什器備品	0	0	0
リース資産	2,464,000	3,388,000	△ 924,000
減価償却累計額	0	0	0
電話加入権	226,800	226,800	0
その他固定資産合計	2,690,800	3,614,800	△ 924,000
固定資産合計	223,501,692	212,238,595	11,263,097
資産合計	312,597,884	312,263,261	334,623
II 負債の部			
1. 流動負債			
買掛金	0	0	0
未払金	53,760,323	81,192,733	△ 27,432,410
未払法人税等	0	0	0
未払消費税等	0	0	0
預り金	4,259,642	3,329,013	930,629
仮受金	9,814,750	0	9,814,750
他会計短期借入金	2,500,000	0	2,500,000
賞与引当金	18,761,477	15,502,920	3,258,557
流動負債合計	89,096,192	100,024,666	△ 10,928,474
2. 固定負債			
長期未払金	2,464,000	3,388,000	△ 924,000
退職給付引当金	69,377,292	57,915,595	11,461,697
役員退職慰労引当金	2,433,600	1,708,200	725,400
固定負債合計	74,274,892	63,011,795	11,263,097
負債合計	163,371,084	163,036,461	334,623
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産	0	0	0
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)
2. 一般正味財産	149,226,800	149,226,800	0
(うち基本財産への充当額)	(149,000,000)	(149,000,000)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)
正味財産合計	149,226,800	149,226,800	0
負債及び正味財産合計	312,597,884	312,263,261	334,623

令和7年度 貸借対照表(収益事業等会計)

令和8年3月31日現在

(単位:円)

科目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金	40,617,663	6,155,136	34,462,527
普通預金	173,933,958	216,236,077	△ 42,302,119
郵便振替専用口座	0	0	0
定期預金	50,000,000	50,000,000	0
売掛金	10,026,586	0	10,026,586
未収金	1,043,568	0	1,043,568
たな卸資産	9,828,576	1,799,525	8,029,051
前払金		0	0
前払費用		0	0
他会計短期貸付金	32,500,000	0	32,500,000
立替金		0	0
仮払金		0	0
流動資産合計	317,950,351	274,190,738	43,759,613
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
投資有価証券	0	0	0
基本財産引当預金	0	0	0
基本財産合計	0	0	0
(2) 特定資産			
退職給付引当資産	0	0	0
役員退職慰労引当資産	608,400	427,050	181,350
特定資産合計	608,400	427,050	181,350
(3) その他固定資産			
什器備品	49,316,560	30,946,560	18,370,000
リース資産	0	0	0
減価償却累計額	△ 14,302,310	△ 9,683,706	△ 4,618,604
電話加入権	151,200	151,200	0
その他固定資産合計	35,165,450	21,414,054	13,751,396
固定資産合計	35,773,850	21,841,104	13,932,746
資産合計	353,724,201	296,031,842	57,692,359
II 負債の部			
1. 流動負債			
買掛金	36,872,979	0	36,872,979
未払金	63,458,211	44,353,916	19,104,295
未払法人税等	4,454,600	7,057,800	△ 2,603,200
未払消費税等	3,338,327	△ 1,689,344	5,027,671
預り金	5,411	5,411	0
仮受金	0	0	0
他会計短期借入金	0	0	0
賞与引当金	409,273	619,867	△ 210,594
流動負債合計	108,538,801	50,347,650	58,191,151
2. 固定負債			
長期未払金	0	0	0
退職給付引当金	0	0	0
役員退職慰労引当金	608,400	427,050	181,350
固定負債合計	608,400	427,050	181,350
負債合計	109,147,201	50,774,700	58,372,501
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産	0	0	0
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)
2. 一般正味財産	244,577,000	245,257,142	△ 680,142
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)
正味財産合計	244,577,000	245,257,142	△ 680,142
負債及び正味財産合計	353,724,201	296,031,842	57,692,359

令和7年度 貸借対照表(法人会計)

令和8年3月31日現在

(単位:円)

科目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金	107,970	132,427	△ 24,457
普通預金	18,948,960	11,858,732	7,090,228
郵便振替専用口座	0	0	0
定期預金	0	0	0
売掛金	0	0	0
未収金	33,153,272	14,627,020	18,526,252
たな卸資産	0	0	0
前払金	0	0	0
前払費用	0	0	0
他会計短期貸付金	0	0	0
立替金	0	0	0
仮払金	0	0	0
流動資産合計	52,210,202	26,618,179	25,592,023
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
投資有価証券	0	0	0
基本財産引当預金	0	0	0
基本財産合計	0	0	0
(2) 特定資産			
退職給付引当資産	10,366,722	7,158,107	3,208,615
役員退職慰労引当資産	1,014,000	711,750	302,250
特定資産合計	11,380,722	7,869,857	3,510,865
(3) その他固定資産			
什器備品	2,255,000	2,255,000	0
リース資産	0	0	0
減価償却累計額	△ 2,255,000	△ 2,255,000	0
電話加入権	1,134,000	1,134,000	0
その他固定資産合計	1,134,000	1,134,000	0
固定資産合計	12,514,722	9,003,857	3,510,865
資産合計	64,724,924	35,622,036	29,102,888
II 負債の部			
1. 流動負債			
買掛金	0	0	0
未払金	14,735,070	13,466,282	1,268,788
未払法人税等	0	0	0
未払消費税等	6,684,941	10,934,769	△ 4,249,828
預り金	4,747	10,461	△ 5,714
仮受金	0	0	0
他会計短期借入金	30,000,000	0	30,000,000
賞与引当金	785,444	2,206,667	△ 1,421,223
流動負債合計	52,210,202	26,618,179	25,592,023
2. 固定負債			
長期未払金	0	0	0
退職給付引当金	10,366,722	7,158,107	3,208,615
役員退職慰労引当金	1,014,000	711,750	302,250
固定負債合計	11,380,722	7,869,857	3,510,865
負債合計	63,590,924	34,488,036	29,102,888
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産	0	0	0
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)
2. 一般正味財産	1,134,000	1,134,000	0
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)
正味財産合計	1,134,000	1,134,000	0
負債及び正味財産合計	64,724,924	35,622,036	29,102,888

令和7年度 正味財産増減計算書

令和7年4月1日から令和8年3月31日まで

(単位:円)

科目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 基本財産運用益			
基本財産受取利息	225,000	24,985	200,015
② 受取会費			
賛助会員受取会費	0	0	0
③ 事業収益			
管理受託事業収益	919,340,269	894,840,721	24,499,548
館内販売事業収益	279,633,551	204,538,649	75,094,902
レストラン事業収益	1,200,000	1,195,161	4,839
写真販売事業収益	0	0	0
自動販売機等事業収益	58,859,243	23,082,283	35,776,960
真珠取出体験事業収益	3,386,022	3,197,290	188,732
④ 受取補助金等			
受取民間補助金	5,720,000	0	5,720,000
⑤ 雑収益			
受取利息	113,693	28,005	85,688
雑収益	2,977,212	3,606,898	△ 629,686
経常収益計	1,271,454,990	1,130,513,992	140,940,998
(2) 経常費用			
① 事業費			
役員報酬	8,424,000	8,424,000	0
給料	138,746,330	130,820,091	7,926,239
職員手当	88,832,260	81,062,970	7,769,290
退職給付費用	11,461,697	13,311,176	△ 1,849,479
役員退職慰労金	906,750	824,850	81,900
福利厚生費	39,753,029	36,260,219	3,492,810
臨時職員賃金	28,466,905	20,666,464	7,800,441
会議費	4,747	0	4,747
旅費交通費	2,232,901	2,568,998	△ 336,097
通信運搬費	942,133	974,550	△ 32,417
減価償却費	5,542,604	658,146	4,884,458
消耗什器備品費	3,515,119	4,152,023	△ 636,904
消耗品費	23,242,807	20,907,329	2,335,478
水族購入費	10,462,819	2,199,364	8,263,455
展示資料購入費	13,134	0	13,134
飼料購入費	30,809,504	26,539,572	4,269,932
原材料費	351,207	2,006,433	△ 1,655,226
修繕費	23,468,538	16,800,479	6,668,059
印刷製本費	1,690,700	0	1,690,700
燃料費	858,192	957,548	△ 99,356
光熱水料費	227,754,089	256,329,115	△ 28,575,026
賃借料	15,548,402	12,597,773	2,950,629
保険料	535,320	674,212	△ 138,892
諸謝金	0	77,600	△ 77,600
手数料	5,204,114	3,180,981	2,023,133
広報宣伝費	0	0	0
租税公課	6,658,867	4,353,334	2,305,533
支払負担金	5,000	298,500	△ 293,500
委託費	188,776,948	187,452,703	1,324,245
設備改装費	25,146,000	157,300	24,988,700
期首商品棚卸高	1,799,525	954,416	845,109
館内販売仕入費	222,341,928	141,251,128	81,090,800
期末商品棚卸高	△ 9,828,576	△ 1,799,525	△ 8,029,051
雑費	7,240	80,862	△ 73,622

(単位:円)

科目	当年度	前年度	増減
② 管理費			
役員報酬	2,948,400	3,040,800	△ 92,400
給料	21,832,228	14,839,909	6,992,319
職員手当	13,580,083	10,280,019	3,300,064
退職給付費用	3,208,615	1,036,721	2,171,894
役員退職慰労金	302,250	384,150	△ 81,900
福利厚生費	6,589,253	4,497,241	2,092,012
臨時職員賃金	3,329,712	2,294,991	1,034,721
会議費	273,943	297,445	△ 23,502
旅費交通費	788,127	2,597,726	△ 1,809,599
交際費	0	0	0
通信運搬費	621,253	1,315,390	△ 694,137
減価償却費	0	451,000	△ 451,000
消耗什器備品費	935,721	781,451	154,270
消耗品費	3,304,442	1,834,227	1,470,215
原材料費	0	3,228	△ 3,228
修繕費	217,839	149,353	68,486
印刷製本費	59,180	33,000	26,180
燃料費	55,562	86,637	△ 31,075
光熱水料費	11,884,303	13,386,922	△ 1,502,619
賃借料	3,537,477	3,640,237	△ 102,760
保険料	606,503	625,280	△ 18,777
諸謝金	0	45,600	△ 45,600
手数料	3,046,661	2,917,029	129,632
広報宣伝費	40,891,880	21,897,740	18,994,140
租税公課	28,300,776	28,606,891	△ 306,115
支払負担金	1,329,100	1,348,030	△ 18,930
委託費	16,362,972	18,619,683	△ 2,256,711
設備改装費	0	0	0
雑費	19	0	19
経常費用計	1,267,680,532	1,109,753,311	157,927,221
評価損益等調整前当期経常増減額	3,774,458	20,760,681	△ 16,986,223
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	3,774,458	20,760,681	△ 16,986,223
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
① 固定資産売却益			
什器備品売却益	0	0	0
電話加入権売却益	0	0	0
② 固定資産受贈益			
投資有価証券受贈益	0	0	0
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
① 固定資産売却損			
什器備品売却損	0	0	0
電話加入権売却損	0	0	0
② 固定資産減損損失			
投資有価証券減損損失	0	0	0
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
他会計振替額	0	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	3,774,458	20,760,681	△ 16,986,223
法人税、住民税及び事業税	4,454,600	7,057,800	△ 2,603,200
当期一般正味財産増減額	△ 680,142	13,702,881	△ 14,383,023
一般正味財産期首残高	395,617,942	381,915,061	13,702,881
一般正味財産期末残高	394,937,800	395,617,942	△ 680,142
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	394,937,800	395,617,942	△ 680,142

令和7年度 正味財産増減計算書内訳表

令和7年4月1日から令和8年3月31日まで

(単位:円)

科目	公益目的事業会計	収益事業等会計	法人会計	内部取引消去	合計
	水族館事業	売店等事業			
I 一般正味財産増減の部					
1. 経常増減の部					
(1) 経常収益					
① 基本財産運用益					
基本財産受取利息	225,000	0	0		225,000
② 受取会費					
賛助会員受取会費	0	0	0		0
③ 事業収益					
管理受託事業収益	788,646,582	0	130,693,687		919,340,269
館内販売事業収益	0	279,633,551	0		279,633,551
レストラン事業収益	0	1,200,000	0		1,200,000
写真販売事業収益	0	0	0		0
自動販売機等事業収益	0	58,859,243	0		58,859,243
真珠取出体験事業収益	0	3,386,022	0		3,386,022
④ 受取補助金等					
受取民間補助金	5,720,000	0	0		5,720,000
⑤ 雑収益					
受取利息	0	113,693	0		113,693
雑収益	5,575	2,812,297	159,340		2,977,212
経常収益計	794,597,157	346,004,806	130,853,027	0	1,271,454,990
(2) 経常費用					
① 事業費					
役員報酬	6,804,000	1,620,000			8,424,000
給料	131,110,130	7,636,200			138,746,330
職員手当	84,378,263	4,453,997			88,832,260
退職給付費用	11,461,697	0			11,461,697
役員退職慰労金	725,400	181,350			906,750
福利厚生費	36,691,474	3,061,555			39,753,029
臨時職員賃金	17,105,318	11,361,587			28,466,905
会議費	0	4,747			4,747
旅費交通費	2,232,901	0			2,232,901
通信運搬費	838,043	104,090			942,133
減価償却費	924,000	4,618,604			5,542,604
消耗什器備品費	3,233,134	281,985			3,515,119
消耗品費	18,538,660	4,704,147			23,242,807
水族購入費	10,462,819	0			10,462,819
展示資料購入費	13,134	0			13,134
飼料購入費	30,809,504	0			30,809,504
原材料費	351,207	0			351,207
修繕費	23,468,538	0			23,468,538
印刷製本費	1,639,770	50,930			1,690,700
燃料費	858,192	0			858,192
光熱水料費	224,781,707	2,972,382			227,754,089
賃借料	1,852,047	13,696,355			15,548,402
保険料	535,320	0			535,320
諸謝金	0	0			0
手数料	1,299,316	3,904,798			5,204,114
広報宣伝費	0	0			0
租税公課	0	6,658,867			6,658,867
支払負担金	0	5,000			5,000
委託費	184,764,471	4,012,477			188,776,948
設備改装費	24,860,000	286,000			25,146,000
期首商品棚卸高	0	1,799,525			1,799,525
館内販売仕入費	0	222,341,928			222,341,928
期末商品棚卸高	0	△ 9,828,576			△ 9,828,576
雑費	4,840	2,400			7,240

(単位:円)

科目	公益目的事業会計		収益事業等会計	法人会計	内部取引消去	合計
	水族館事業		売店等事業			
② 管理費						
役員報酬				2,948,400		2,948,400
給料				21,832,228		21,832,228
職員手当				13,580,083		13,580,083
退職給付費用				3,208,615		3,208,615
役員退職慰労金				302,250		302,250
福利厚生費				6,589,253		6,589,253
臨時職員賃金				3,329,712		3,329,712
会議費				273,943		273,943
旅費交通費				788,127		788,127
交際費				0		0
通信運搬費				621,253		621,253
減価償却費				0		0
消耗什器備品費				935,721		935,721
消耗品費				3,304,442		3,304,442
原材料費				0		0
修繕費				217,839		217,839
印刷製本費				59,180		59,180
燃料費				55,562		55,562
光熱水料費				11,884,303		11,884,303
賃借料				3,537,477		3,537,477
保険料				606,503		606,503
諸謝金				0		0
手数料				3,046,661		3,046,661
広報宣伝費				40,891,880		40,891,880
租税公課				28,300,776		28,300,776
支払負担金				1,329,100		1,329,100
委託費				16,362,972		16,362,972
設備改装費				0		0
雑費				19		19
經常費用計	819,743,885	283,930,348		164,006,299	0	1,267,680,532
評価損益等調整前当期經常増減額	△ 25,146,728	62,074,458		△ 33,153,272	0	3,774,458
評価損益等計	0	0		0		0
当期經常増減額	△ 25,146,728	62,074,458		△ 33,153,272	0	3,774,458
2. 經常外増減の部						
(1) 經常外収益						
① 固定資産売却益						
什器備品売却益	0	0		0		0
電話加入権売却益	0	0		0		0
② 固定資産受贈益						
投資有価証券受贈益	0	0		0		0
經常外収益計	0	0		0	0	0
(2) 經常外費用						
① 固定資産売却損						
什器備品売却損	0	0		0		0
電話加入権売却損	0	0		0		0
② 固定資産減損損失						
投資有価証券減損損失	0	0		0		0
經常外費用計	0	0		0	0	0
当期經常外増減額	0	0		0	0	0
他会計振替額	25,146,728	△ 58,300,000		33,153,272		0
税引前当期一般正味財産増減額	0	3,774,458		0	0	3,774,458
法人税、住民税及び事業税	0	4,454,600		0		4,454,600
当期一般正味財産増減額	0	△ 680,142		0	0	△ 680,142
一般正味財産期首残高	149,226,800	245,257,142		1,134,000		395,617,942
一般正味財産期末残高	149,226,800	244,577,000		1,134,000	0	394,937,800
II 指定正味財産増減の部						
当期指定正味財産増減額	0	0		0		0
指定正味財産期首残高	0	0		0		0
指定正味財産期末残高	0	0		0	0	0
III 正味財産期末残高	149,226,800	244,577,000		1,134,000	0	394,937,800

令和7年度 正味財産増減計算書(公益目的事業会計)

令和7年4月1日から令和8年3月31日まで

(単位:円)

科目	予 算 額			計 (a)	決 算 額 (b)	予算残額 (a) - (b)	前年度決算額 (c)	増 減 (b) - (c)
	当初予算額	補正予算額	流用増減額					
I 一般正味財産増減の部								
1. 経常増減の部								
(1) 経常収益								
① 基本財産運用益								
基本財産受取利息	125,000			125,000	225,000	△ 100,000	24,985	200,015
② 受取会費								
賛助会員受取会費	0			0	0	0	0	0
③ 事業収益								
管理受託事業収益	844,166,900			844,166,900	788,646,582	55,520,318	775,046,393	13,600,189
④ 受取補助金等								
受取民間補助金	4,589,000			4,589,000	5,720,000	△ 1,131,000	0	5,720,000
⑤ 雑収益								
受取利息	0			0	0	0	5	△ 5
雑収益	0			0	5,575	△ 5,575	114,465	△ 108,890
経常収益計	848,880,900	0	0	848,880,900	794,597,157	54,283,743	775,185,848	19,411,309
(2) 経常費用								
① 事業費								
役員報酬	6,804,000			6,804,000	6,804,000	0	6,804,000	0
給料	125,028,558		6,081,572	131,110,130	131,110,130	0	124,011,191	7,098,939
職員手当	78,016,863		6,361,400	84,378,263	84,378,263	0	77,464,724	6,913,539
退職給付費用	9,141,110		2,320,587	11,461,697	11,461,697	0	13,311,176	△ 1,849,479
役員退職慰労金	312,904		412,496	725,400	725,400	0	561,600	163,800
福利厚生費	37,154,027			37,154,027	36,691,474	462,553	33,504,600	3,186,874
臨時職員賃金	14,486,323		2,618,995	17,105,318	17,105,318	0	13,845,146	3,260,172
会議費	0			0	0	0	0	0
旅費交通費	2,430,450			2,430,450	2,232,901	197,549	2,394,308	△ 161,407
通信運搬費	1,134,370			1,134,370	838,043	296,327	867,615	△ 29,572
減価償却費	0		924,000	924,000	924,000	0	0	924,000
消耗什器備品費	4,168,375			4,168,375	3,233,134	935,241	4,152,023	△ 918,889
消耗品費	16,955,085		2,700,000	19,655,085	18,538,660	1,116,425	20,433,861	△ 1,895,201
水族購入費	10,826,000			10,826,000	10,462,819	363,181	2,199,364	8,263,455
展示資料購入費	27,200			27,200	13,134	14,066	0	13,134
飼料購入費	32,303,000			32,303,000	30,809,504	1,493,496	26,539,572	4,269,932
原材料費	605,982			605,982	351,207	254,775	2,006,433	△ 1,655,926
修繕費	12,297,242		12,000,000	24,297,242	23,468,538	828,704	16,800,479	6,668,059
印刷製本費	3,124,600			3,124,600	1,639,770	1,484,830	0	1,639,770
燃料費	1,016,393			1,016,393	858,192	158,201	957,548	△ 99,356
光熱水料費	304,898,700		△ 41,853,845	263,044,855	224,781,707	38,263,148	253,239,805	△ 28,458,098
賃借料	3,097,935			3,097,935	1,852,047	1,245,888	3,828,357	△ 1,976,310
保険料	587,000			587,000	535,320	51,680	674,212	△ 138,892
諸謝金	0			0	0	0	77,600	△ 77,600
手数料	1,474,250			1,474,250	1,299,316	174,934	1,079,180	220,136
広報宣伝費	0			0	0	0	0	0
租税公課	0			0	0	0	0	0
支払負担金	240,000			240,000	0	240,000	120,000	△ 120,000
委託費	182,750,533		8,434,795	191,185,328	184,764,471	6,420,857	180,528,734	4,235,737
設備改装費	25,000,000		△ 4,840	24,995,160	24,860,000	135,160	157,300	24,702,700
雑費	0		4,840	4,840	4,840	0	0	4,840
経常費用計	873,880,900	0	0	873,880,900	819,743,885	54,137,015	785,558,828	34,185,057
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 25,000,000	0	0	△ 25,000,000	△ 25,146,728	146,728	△ 10,372,980	△ 14,773,748
評価損益等計	0			0	0	0	0	0
当期経常増減額	△ 25,000,000	0	0	△ 25,000,000	△ 25,146,728	146,728	△ 10,372,980	△ 14,773,748
2. 経常外増減の部								
(1) 経常外収益								
① 固定資産売却益								
什器備品売却益	0			0	0	0	0	0
電話加入権売却益	0			0	0	0	0	0
② 固定資産受贈益								
投資有価証券受贈益	0			0	0	0	0	0
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用								
① 固定資産売却損								
什器備品売却損	0			0	0	0	0	0
電話加入権売却損	0			0	0	0	0	0
② 固定資産減損損失								
投資有価証券減損損失	0			0	0	0	0	0
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0	0
他会計振替額	25,000,000			25,000,000	25,146,728	△ 146,728	10,372,980	14,773,748
税引前当期一般正味財産増減額	0	0	0	0	0	0	0	0
法人税、住民税及び事業税	0			0	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	0	0	0	0	0	0	0	0
一般正味財産期首残高	150,512,000			150,512,000	149,226,800	1,285,200	149,226,800	0
一般正味財産期末残高	150,512,000	0	0	150,512,000	149,226,800	1,285,200	149,226,800	0
II 指定正味財産増減の部								
当期指定正味財産増減額	0			0	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	0			0	0	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0	0	0	0	0	0
III 正味財産期末残高	150,512,000	0	0	150,512,000	149,226,800	1,285,200	149,226,800	0

令和7年度 正味財産増減計算書(収益事業等会計)

令和7年4月1日から令和8年3月31日まで

(単位:円)

科目	予 算 額			計 (a)	決 算 額 (b)	予算残額 (a) - (b)	前年度決算額 (c)	増 減 (b) - (c)
	当初予算額	補正予算額	流用増減額					
I 一般正味財産増減の部								
1. 経常増減の部								
(1) 経常収益								
① 事業収益								
館内販売事業収益	232,649,000	46,751,000		279,400,000	279,633,551	△ 233,551	204,538,649	75,094,902
レストラン事業収益	1,200,000			1,200,000	1,200,000	0	1,195,161	4,839
写真販売事業収益	0			0	0	0	0	0
自動販売機等事業収益	25,719,000	38,524,000		64,243,000	58,859,243	5,383,757	23,082,283	35,776,960
真珠取出体験事業収益	1,813,000			1,813,000	3,386,022	△ 1,573,022	3,197,290	188,732
② 雑収益								
受取利息	112,500			112,500	113,693	△ 1,193	28,000	85,693
雑収益	3,298,000			3,298,000	2,812,297	485,703	2,903,081	△ 90,784
経常収益計	264,791,500	85,275,000	0	350,066,500	346,004,806	4,061,694	234,944,464	111,060,342
(2) 経常費用								
① 事業費								
役員報酬	1,620,000			1,620,000	1,620,000	0	1,620,000	0
給料	9,729,700			9,729,700	7,636,200	2,093,500	6,808,900	827,300
職員手当	7,365,990			7,365,990	4,453,997	2,911,993	3,598,246	855,751
退職給付費用	18,081			18,081	0	18,081	0	0
役員退職慰労金	81,900		99,450	181,350	181,350	0	263,250	△ 81,900
福利厚生費	4,905,839			4,905,839	3,061,555	1,844,284	2,755,619	305,936
臨時職員賃金	10,361,270		1,000,317	11,361,587	11,361,587	0	6,821,318	4,540,269
会議費	240,000			240,000	4,747	235,253	0	4,747
旅費交通費	287,000			287,000	0	287,000	174,690	△ 174,690
通信運搬費	169,000			169,000	104,090	64,910	106,935	△ 2,845
減価償却費	5,140,000			5,140,000	4,618,604	521,396	658,146	3,960,458
消耗什器備品費	476,000			476,000	281,985	194,015	0	281,985
消耗品費	4,895,000		219,183	5,114,183	4,704,147	410,036	473,468	4,230,679
原材料費	0			0	0	0	0	0
修繕費	408,000			408,000	0	408,000	0	0
印刷製本費	164,000			164,000	50,930	113,070	0	50,930
燃料費	0			0	0	0	0	0
光熱水料費	4,748,000		△ 99,450	4,648,550	2,972,382	1,676,168	3,089,310	△ 116,928
賃借料	10,784,000		3,000,000	13,784,000	13,696,355	87,645	8,769,416	4,926,939
保険料	0			0	0	0	0	0
諸謝金	0			0	0	0	0	0
手数料	2,252,000		1,700,000	3,952,000	3,904,798	47,202	2,101,801	1,802,997
広報宣伝費	0			0	0	0	0	0
租税公課	6,930,000			6,930,000	6,658,867	271,133	4,353,334	2,305,533
支払負担金	348,000			348,000	5,000	343,000	178,500	△ 173,500
委託費	12,065,000		△ 5,919,500	6,145,500	4,012,477	2,133,023	6,923,969	△ 2,911,492
設備改装費	500,000			500,000	286,000	214,000	0	286,000
期首商品棚卸高	2,230,493			2,230,493	1,799,525	430,968	954,416	845,109
館内販売仕入費	159,293,000	65,212,000		224,505,000	222,341,928	2,163,072	141,251,128	81,090,800
期末商品棚卸高	△ 2,230,493			△ 2,230,493	△ 9,828,576	7,598,083	△ 1,799,525	△ 8,029,051
雑費	100,000			100,000	2,400	97,600	80,862	△ 78,462
経常費用計	242,881,780	65,212,000	0	308,093,780	283,930,348	24,163,432	189,183,783	94,746,565
評価損益等調整前当期経常増減額	21,909,720	20,063,000	0	41,972,720	62,074,458	△ 20,101,738	45,760,681	16,313,777
評価損益等計	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常増減額	21,909,720	20,063,000	0	41,972,720	62,074,458	△ 20,101,738	45,760,681	16,313,777
2. 経常外増減の部								
(1) 経常外収益								
① 固定資産売却益								
什器備品売却益	0			0	0	0	0	0
電話加入権売却益	0			0	0	0	0	0
② 固定資産受贈益								
投資有価証券受贈益	0			0	0	0	0	0
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用								
① 固定資産売却損								
什器備品売却損	0			0	0	0	0	0
電話加入権売却損	0			0	0	0	0	0
② 固定資産減損損失								
投資有価証券減損損失	0			0	0	0	0	0
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0	0
他会計振替額	△ 46,838,720	0	0	△ 46,838,720	△ 58,300,000	11,461,280	△ 25,000,000	△ 33,300,000
税引前当期一般正味財産増減額	△ 24,929,000	20,063,000	0	△ 4,866,000	3,774,458	△ 8,640,458	20,760,681	△ 16,986,223
法人税、住民税及び事業税	71,000	0	0	71,000	4,454,600	△ 4,383,600	7,057,800	△ 2,603,200
当期一般正味財産増減額	△ 25,000,000	20,063,000	0	△ 4,937,000	△ 680,142	△ 4,256,858	13,702,881	△ 14,383,023
一般正味財産期首残高	204,410,961	0	0	204,410,961	245,257,142	△ 40,846,181	231,554,261	13,702,881
一般正味財産期末残高	179,410,961	20,063,000	0	199,473,961	244,577,000	△ 45,103,039	245,257,142	△ 680,142
II 指定正味財産増減の部								
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0	0	0	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0	0	0	0	0	0
III 正味財産期末残高	179,410,961	20,063,000	0	199,473,961	244,577,000	△ 45,103,039	245,257,142	△ 680,142

令和7年度 正味財産増減計算書(法人会計)

令和7年4月1日から令和8年3月31日まで

(単位:円)

科目	予 算 額				決 算 額 (b)	予算残額 (a) - (b)	前年度決算額 (c)	増 減 (b) - (c)
	当初予算額	補正予算額	流用増減額	計 (a)				
I 一般正味財産増減の部								
1. 経常増減の部								
(1) 経常収益								
① 事業収益								
管理受託事業収益	147,157,139			147,157,139	130,693,687	16,463,452	119,794,328	10,899,359
② 受取補助金等								
受取国庫補助金	0			0	0	0	0	0
③ 雑収益								
受取利息	0			0		0		0
雑収益	0			0	159,340	△ 159,340	589,352	△ 430,012
経常収益計	147,157,139	0	0	147,157,139	130,853,027	16,304,112	120,383,680	10,469,347
(2) 経常費用								
① 管理費								
役員報酬	3,410,000			3,410,000	2,948,400	461,600	3,040,800	△ 92,400
給料	18,682,428		3,600,000	22,282,428	21,832,228	450,200	14,839,909	6,992,319
職員手当	10,553,095		4,807,262	15,360,357	13,580,083	1,780,274	10,280,019	3,300,064
退職給付費用	1,359,307		1,849,308	3,208,615	3,208,615	0	1,036,721	2,171,894
役員退職慰労金	46,530		255,720	302,250	302,250	0	384,150	△ 81,900
福利厚生費	5,988,984		800,000	6,788,984	6,589,253	199,731	4,497,241	2,092,012
臨時職員賃金	5,128,051		△ 1,500,000	3,628,051	3,329,712	298,339	2,294,991	1,034,721
会議費	434,350			434,350	273,943	160,407	297,445	△ 23,502
旅費交通費	3,061,300		△ 2,273,173	788,127	788,127	0	2,597,726	△ 1,809,599
交際費	100,000			100,000		100,000	0	0
通信運搬費	1,986,130		△ 1,000,000	986,130	621,253	364,877	1,315,390	△ 694,137
減価償却費	0			0		0	451,000	△ 451,000
消耗什器備品費	1,528,683		△ 500,000	1,028,683	935,721	92,962	781,451	154,270
消耗品費	4,149,840		△ 500,000	3,649,840	3,304,442	345,398	1,834,227	1,470,215
原材料費	7,378			7,378		7,378	3,228	△ 3,228
修繕費	851,310		△ 633,471	217,839	217,839	0	149,353	68,486
印刷製本費	433,750		△ 300,000	133,750	59,180	74,570	33,000	26,180
燃料費	197,158			197,158	55,562	141,596	86,637	△ 31,075
光熱水料費	16,047,300		△ 3,605,646	12,441,654	11,884,303	557,351	13,386,922	△ 1,502,619
賃借料	4,105,315			4,105,315	3,537,477	567,838	3,640,237	△ 102,760
保険料	633,000			633,000	606,503	26,497	625,280	△ 18,777
諸謝金	16,000			16,000	0	16,000	45,600	△ 45,600
手数料	4,555,650		△ 1,100,000	3,455,650	3,046,661	408,989	2,917,029	129,632
広報宣伝費	41,310,000			41,310,000	40,891,880	418,120	21,897,740	18,994,140
租税公課	25,918,000			25,918,000	28,300,776	△ 2,382,776	28,606,891	△ 306,115
支払負担金	1,964,800		△ 500,000	1,464,800	1,329,100	135,700	1,348,030	△ 18,930
委託費	16,427,500		600,000	17,027,500	16,362,972	664,528	18,619,683	△ 2,256,711
設備改装費	0			0	0	0	0	0
雑費	100,000			100,000	19	99,981	0	19
経常費用計	168,995,859	0	0	168,995,859	164,006,299	4,989,560	135,010,700	28,995,599
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 21,838,720	0	0	△ 21,838,720	△ 33,153,272	11,314,552	△ 14,627,020	△ 18,526,252
評価損益等計	0			0	0	0	0	0
当期経常増減額	△ 21,838,720	0	0	△ 21,838,720	△ 33,153,272	11,314,552	△ 14,627,020	△ 18,526,252
2. 経常外増減の部								
(1) 経常外収益								
① 固定資産売却益								
什器備品売却益	0			0	0	0	0	0
電話加入権売却益	0			0	0	0	0	0
② 固定資産受贈益								
投資有価証券受贈益	0			0	0	0	0	0
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用								
① 固定資産売却損								
什器備品売却損	0			0	0	0	0	0
電話加入権売却損	0			0	0	0	0	0
② 固定資産減損損失								
投資有価証券減損損失	0			0	0	0	0	0
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0	0
他会計振替額	21,838,720			21,838,720	33,153,272	△ 11,314,552	14,627,020	18,526,252
税引前当期一般正味財産増減額	0	0	0	0	0	0	0	0
法人税、住民税及び事業税	0			0	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	0	0	0	0	0	0	0	0
一般正味財産期首残高	0			0	1,134,000	△ 1,134,000	1,134,000	0
一般正味財産期末残高	0	0	0	0	1,134,000	△ 1,134,000	1,134,000	0
II 指定正味財産増減の部								
当期指定正味財産増減額	0			0	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	0			0	0	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0	0	0	0	0	0
III 正味財産期末残高	0	0	0	0	1,134,000	△ 1,134,000	1,134,000	0